

## 長野県薪ストーブ使用によるJ-VERプロジェクト

長野県産の間伐材薪をストーブ燃料として利用し、化石燃料の代替とすることによりCO2の排出削減を図ります。プロジェクトから創出されるクレジット収益は、薪ストーブの利用者に還元する仕組みを構築しており、未利用の間伐材等の森林資源を有効活用することにより、地球温暖化防止策に貢献する森林整備の推進と、地域住民の地球温暖化対策に対する理解を深めることを目的としたプロジェクトを進めております。

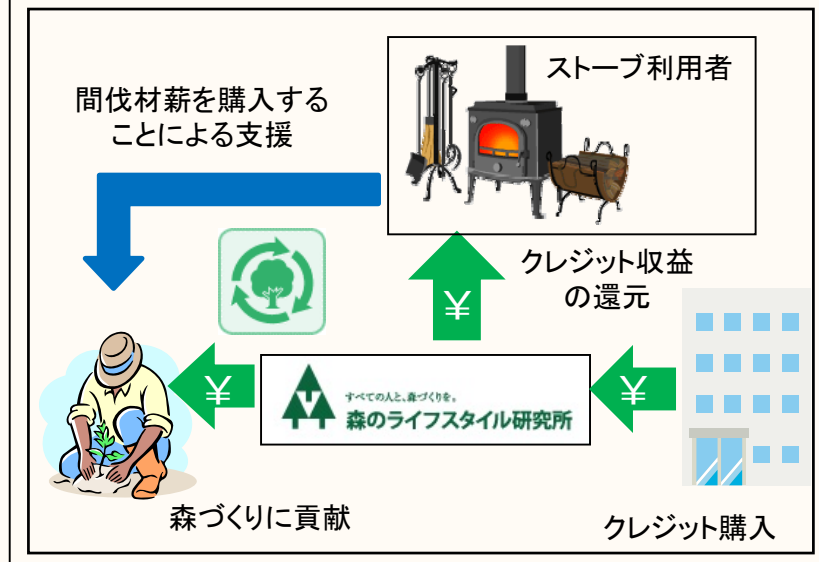
プロジェクトの実施場所	長野県全域
削減量(予測)	年間 200 t-CO2
在庫量(23年11月時点)	0 t-CO2
クレジットの次回発行予定	平成24年7月
1t-CO2あたりの希望単価	10,000円

毎月1回のペースで首都圏在住の若者と一緒に、森づくりを行なっています。その活動で発生した間伐材も一部、薪ストーブで使われています。



【TBSテレビ「王様のブランチ」などで紹介されています。】

### 間伐材薪の好循環モデル



■担当者連絡先 担当者:竹垣

(TEL:03-6427-6369、MAIL:info@slow.gr.jp)